

令和2年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

組織・グループ名	南足柄市社会福祉協議会
活動区分 ※いずれか1つに○をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般助成 <ul style="list-style-type: none"> ① 当事者支え合い・当事者支援の促進 ② 地域福祉ニーズ(課題)への対応 ③ 福祉の学び(参加型福祉教育)の推進 ④ 福祉コミュニティの構築 ● 協働事業助成 <ul style="list-style-type: none"> [1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動]
助成事業名	南足柄で育つ好奇心～みんなの居場所「寺子屋」事業

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

「南足柄で育つ好奇心」を合言葉にスタートした寺子屋も3年目です。コロナ禍のなかでしたが、夏休みには5プログラム、冬は3プログラム、春は2プログラムを実施しました。延べ児童104名、保護者25名、協力者(先生役や見守りボランティア)75名に参加いただきました。

夏は、車いす探検を行ったり、ミシンを使って自分だけのマスクを作りました。学校でミシンを習ったという男児も参加し、ボランティアグループ「ゆい」の協力のもと、自分だけのマスクを完成させました。



冬には、はじめてZoomを使ってのリモート合奏会を開催。調理器具や貝などを楽器にしました。音がずれたり、聞こえづらかったり・・・いくつかのハプニングを乗り越え、ボランティアグループ「クレッシェンド」の指揮のもと、クリスマスソングを合奏しました。また、夏にマスク作りを教えてくれた「ゆい」が手縫いのお手玉を教えてくださいました。遊び方も教わり、弟妹の参加者も一緒に楽しみました。

春休みは大型企画でした。あんどうりすさんによる「おやこ・防災教室」は、東京からZoomでつないだ講師が大型スクリーンでお話してくれました。トイレ実験やLEDランタン作りなど、メカニズムも説明したうえでの実技だったので、保護者の皆さんも大満足の時間でした。「巨大スポーツかるた」は、“世界ゆるスポーツ協会認定”のかるたと運動がドッキングした新しく、面白いスポーツ。絵札と同じポーズや動きをします。元体育教師のボランティアさんの進行で、参加された方たちからは「運動不足解消に役立った!」「汗をかくくらいおもしろかった!」という感想をたくさんもらいました。



どのプログラムにも、地域のボランティアさんが見守りやお手伝いで参加。一緒に楽しんだり、適切なアドバイスをくださったりしています。思い返すと、子どもだけでなく、大人も笑顔になれる「寺子屋」でした。

令和3年度からは、市の委託事業として継続します。より多くの人たちを笑顔にできるようなプログラムを、地域のみなさんと作っていきたいと思います。